

月刊

社協だより

平成30年
5月号社協
かるが発行：狩留家地区社会福祉協議会 編集：広報部
広島市安佐北区狩留家町3144番地 TEL：844-0826

狩留家地区社協は今年度も「ぴんぴんコロコロ元気な狩留家」は「町おこしを通して創ります」をスローガンとして掲げ、次の五項目を基本方針として活動します。①何時も安心・安全な町を作ります。②いくつになっても元気で過ごせる町を作ります。③子育て支援で安心して仕事が続けられる町を作ります。④賑わいのある町を作ります。⑤情報発信力強化に取組みます。

③子育て支援で安心して仕事が続けられる町を作ります。④賑わいのある町を作ります。⑤情報発信力強化に取組みます。

また、今年度の重点取組として、①狩留家内で生活必需品等が調達できるように“拠点づくり”を推進します。②若者が狩留家に訪れ、定住したくなる様に「花と緑と香りの漂う狩留家」「おとぎの国・狩留家」を作ります。③高齢者見守り、児童の見守り等で若者が安心して働ける町を作ります。などを重点的に取り組んでいきます。

その他に、高齢者の健 康づくりのためのウオーキング教室や児童の見守り等で若者が安心して働ける町を作ります。などを重点的に取り組んでいきます。



健康ウォーキング教室に参加して

五月八日、狩留家集会所に於いて健康ウォーキング教室が開催され、健康運動指導士 玉川真弓先生から正しい歩き方、ウォーキングの効果、靴の選び方について色々とお話を伺いました。

広島県の健康寿命は、女性が全国で四十六位と大変悪い数字になります。（男性は、二十七位です）

高齢化社会に向けて、なるべく人のお世話にならないように、元気なうちに外出して、運動することが大切と感じました。運動の中には、有酸素運動、無酸素運動があり、その中でもウォーキングは、有酸素運動としてとても効果があるそうです。まずは、背中を起こして

キンギ教室や児童に狩留家の魅力を発信する取り組みとして星空観察会や芋煮会などを予定しています。狩留家外の方へ狩留家の魅力を発信するため、NPO狩留家と共に催で狩留家なす収穫祭も予定しています。恒例となつた新春文化講演会もご期待ください。

三名の理事で協議して住みやすい狩留家作りに努めます。（会長記）

年度初めに当たつて

今後超少子高齢社会を迎えるに当たり、ご近所同士の緩やかで自然な見守り合いが大切なことがあります。また、困り事がありましたらご近所同士で助け合うと共に、お近くの社協理事に気軽に声を掛けてください。

狩留家地区社協は三十名の理事で構成されています。三十年度も三十名の理事で協議して住

めやすいで協議して住みやすい狩留家作りに努めます。

平成三十年五月八日
理事会報告

一、守秘義務について

二、公民館まつりについて（五月十九日・二十日）

三、日帰りバス遠足について（六月五日）

四、災害時に援護を必要とする方の見直しについて

ながらウォーキングすることから始めてみようと思います。内臓脂肪の改善や、筋肉の適切な使い

大股で歩き、水分を取りながらウォーキングすることから始めてみようと思います。内臓脂肪の改善や、筋肉の適切な使い

次回は、五月十五日・二

方が、寿命を延ばすための秘訣だと言うことを学ばせていただきました。

十二日に開催されます。

役員退任のあいさつ

高本誠

子ども会育成会

今年度一名の方が理事を退任されました。長い間ご苦労様でした。退任された後も狩留家地区福祉活動にご指導とご協力をお願いします。退任された方の声を紹介します。

今年度一名の方が理事を退任されました。長い間ご苦労様でした。退任された後も狩留家地区福祉活動にご指導とご協力をお願いします。退任された方の声を紹介します。

動内容に制限やできないことが多くあり申し訳ありませんでした。

今後は、だれでも気軽に参加できる環境が、必要だと実感しています。

今後ともよろしくお願いします。

新任役員の紹介
こども育成会代表

岡崎 美由紀

狩小川小学校PTA代表

太田 雅代

母子寡婦福祉会会長

川崎 知子